

THE ROTARY CLUB OF NAGOYA-CHIKUSA



WEEKLY

なごや
ちくさ

題字 黒野貞夫

名古屋千種ロータリークラブ
承認 1982年 8月24日
例会日 火曜日 12:30
例会場 愛知厚生年金会館
事務局 ☎763-5110
会長 成田良治
幹事 鷺野義明
会報委員長 杉浦比左夫

No. 12

ロータリーを高めよ!

思いを尽くし熱意を尽くし!

1990~91年度 RI会長 パワロ V.C. コスタ

第402回例会 平成2年9月25日(火) 曇

◇ "それでこそロータリー"

◇ 出席報告

会員 68(67)名 出席 49名
出席率 73.13 %
前回 9月18日 (修正出席率) 97.01%

◇ ビジター紹介 4名

◇ お誕生日祝福

西尾夫人(9/29)、黒野夫人(9/30)

◇ ニコボックス

黒須 一夫君 去年のつたない会長挨拶を、「末森城址随想—ロータリー挨拶 ほか—」としてまとめ、本にしました。御笑覧頂ければ幸いです。

成田 良治君、鷺野 義明君 黒須先生「末森城址随想」の出版お目度う御座います。太田 茂君 9月20日のゴルフ会が19号台風のため中止になり、誠に残念でした。

小杉さん本当にありがとうございました。

林 淳三君 北野さん、堀江さん、336地区WC Sの皆様お世話になりました。

加藤 大豊君 10日間の第76次 I O C 東京総会を J O C のホスト役で好評の内に無事終了致しました。

松居 敬二君 本日早退します。

黒野 貞夫君、西尾 正巳君 夫人誕生日祝い。

◇ 鷺野幹事報告

1. 本日例会終了後、理事役員会を開催いたしますので、理事役員の方は2F橋の間にお集まり下さい。
2. 次回例会は、ガバナー公式訪問ですので全会員の御出席をお願いいたします。又、例会終了後、クラブアSEMBリーを開催いたしますので、理事役員、委員長はお残り下さい。

◇ バナー紹介

小倉南 R C 加藤 大豊君

◇ 成田会長挨拶

地 価 高 騰

国土庁は先週十九日都道府県の地価を公表しました。この一年間に住宅地は13.2%、商業地は13.4%の上昇である。

名古屋市の場合、住宅地27.9%、商業地29.1%の上昇です。

錦三丁目の大和銀行のところは、坪当たり7,000万円以上、東京では銀座明治屋のところは坪当りにすると一億2,450万円である。

あまりにも高すぎる不動産価格であります。不動産の場合、新聞・テレビ・雑誌等でその問題点を取り上げておりますし又、政治家も役人も経済界の大家も不動産についての発言をしております。そして種々な法律が出来、税制が発表されます。その度に土地が下がるか安定するかと思いきや、反対に上昇するのです。その繰返しです。

一例を申しますと、名古屋市の場合土地を取引きする際には100㎡以上(30坪)国土法に基づき届出をして、取引価格が適正かどうかの判断を役所にしてもらうわけです。

高過ぎると取引きをしてはならない事になっていますから、届出を取り下げるか、価格を修正して再度届出を出す事になります。これを地価監視区域の取引と言います。

何故地価監視区域を設定したかという、土地の値上りをおさえる為と言われていたわけですが、それがどうしたわけか、高い価格で出しても通してしまうのです。売る人も高い方がよいのですから役所が定めた価格だからという事で契約が成立しています。

最近に至っては名古屋でも国土法価格があまりにも高過ぎるとして、国土法価格以下の取引も成立しています。つまり年間28%も30%も値上りしましたと発表したという事は、役所が値上りを認めたからなのです。何故適正価格におさえられないか不思議でなりません。

つまり日本の土地は、役所又は国がわざと値を上げているのではないかと思われるくらいなのです。価格を値上げして、次は税金の値上げです。路線評価額が上りますから、相続の時も大変になります。私は、土地を値上げさせるといふ事は役所が税金を取る為に行っている政策ではないかと思っている次第です。

<ビデオテープ上映>

われらの天体、地球の保全

「人類の共有財産、地球を守ろう」

※R I ニュースより抜粋

パウロ V.C. コスタ会長の練り上げた「われらの天体、地球の保全」プログラムに全ロータリー・クラブが全面的に参加するのに役立つように、R.I.は、素晴らしい新ビデオを制作しました。アマゾンの雨林を始めとして、アフリカの平原、北米の工業地域を映し出すこの23分間のビデオは、地球の存続をあらゆる環境問題を鋭くえぐっています。

「人類の共有財産、地球を守ろう」(CD4-555-JA)というこのビデオは、温室効果、公害、人口増加、殺虫剤の使用、家庭廃棄物など環境を破壊するものに焦点を当てています。3人の指導的科学家が、いろいろな環境問題を論じ、多岐にわたる解決策を述べています。ブラジルの人類学者は、アマゾンの雨林の破壊に代わる経済対策を提言しています。

ロータリアンや地域の人々に、環境問題について緊急に行動を起こさなければならない、と自覚させるのにこのビデオは最適と思われます。クラブが環境保護に立ち上がる計画を立てようとしているとき、会員の啓発、鼓舞にこのビデオを使って下さい。また、ロータリーの「われらの天体、地球の保全」プログラムを推進し、クラブ・プロジェクトへの地域の支持を集めるために、報道機関や一般の人々への特別上映も計画して下さい。

◇ガバナーズ・レターより

公式訪問について

ガバナー 中村 繁男

公式訪問とは、ガバナーが国際ロータリーの役員として、地区内の各クラブを訪問し、会長以下、全会員と親しく顔を合わせて、牽引に関する諸問題を協議することです。

クラブ会長、幹事および会長エレクトとの協議。クラブ協議会。クラブに対するガバナーの講演。この3つを公式訪問の3要素と呼んでいます。いずれも最低時間の要請があり、

そんなに簡単に済ますことはできません。

ここでは「クラブ協議会」について触れてみたいと思います。クラブ協議会は、クラブ役員や委員長が自分達の計画と業績について意見を発表し、ガバナーと相談する機会です。クラブ協議会は年に何回も開かれますが、この協議会がほかの協議会と違うのは、ガバナーが相談相手として出席していること、主たる目的がその年度の計画に関する討議であるという点です。ガバナー自戒として、(1)この協議会はクラブのために開かれているのだということ。(2)クラブ会長と一体となって働いているということ。(3)長々とスピーチする場所ではないということ。等々があげられています。

クラブにせよ、会長にせよ、同じであると思えるものは、ひとつもありません。前もって計画を立てるときも、またその計画を修正したほうが好都合ではないかと思われるような事態に直面して計画を変更するときも、柔軟な態度を保つことが大切です。それがロータリーであります。協議会の司会はガバナーがしても、会長がしてもよいことになっていますが、私は会長司会をもって一貫したいと考えております。ガバナーはあくまでも助言者の立場で、問題の解決を示唆したいと思えます。

最後にR財団へのご協力をしつこくお願いすることですが、ポリオ・プラス後の財団の仕事を進めるにあたって、ポリオへの寄付によって片寄ってしまった財団を本来の姿に戻したいというのが、私の望みでございます。PHFに既になっておられる方も、また100ドルからはじめて、M-PHFを目指して下さい。財団を推進してゆくことは、ロータリーを高めるために、最も効果的な方法です。

◇9月度理事役員会議

1. 指名委員の件
2. 理事及び役員の件
3. 10月16日(火)優良従業員表彰の件
4. 11月20日(火)F.S.M.の件
5. その他

◇例会変更のお知らせ

名古屋守山RC 10/20(土)秋の家族会の為、
10/16(火)神戸・白鶴美術館にて
10/27(土)職場例会の為、守山荘病院にてAM11:00より

◇次回例会(10月2日)

ガバナー公式訪問

◇次々回例会(10月9日)

講演 “世相とベレストロイカ”
会員 今枝 秀夫 君
講演 “私の職業について”
会員 小杉 啓彰 君